

令和6年7月1日

東京都加盟団体 各位

東京都マスボクシング大会について

東京都ボクシング連盟
審判部長 山崎 哲男

東京都マスボクシング大会の参加、ご協力、ありがとうございました。昨年度の全日本マスボクシング大会に劣らないレベルの高い大会であったと思います。今後のより良い発展のために、今回の大会で気が付いた点、改善点をご覧いただき、今後のご参考にしていただければ幸いです。

マスボクシングのルールは、マスボクシング競技規則および実戦競技の競技規則に準ずるとなっています。日本連盟のホームページに掲載されています。

特に目立った事項は以下のことです。

【ルール違反に関する点】

① ユニフォームの違反

ランニング（あるいはノースリーブシャツ）とトランクス着用です。ランニング（あるいはノースリーブシャツ）の下にTシャツの着用は認められません。

- ・トランクスをはいていない
- ・ランニング（あるいはノースリーブシャツ）を直用していない
- ・ベルトラインとトランクス、あるいはランニング（あるいはノースリーブシャツ）の色が同色になっている
- ・シャツにプリントされたチーム名・メーカー名（ロゴ）などの大きさ、場所の違反

② セコンドの違反

- ・服装違反：短パンや試合のユニフォームでは禁止です
- ・セコンドエリア（FOP）への電子機器（スマホ等）の持ち込みは禁止です
- ・ラウンド中、セコンドは椅子に座らなければいけません

③ インターバル中の水の違反

- ・透明なボトルに入った水のみ使用可

【試合の技術面に関する点】

- ④ ディフェンス動作がない人が多い
- ⑤ 顔面の打撃動作しかしていない、ボディーへの打撃動作がない人が多い
- ⑥ 前進しかしていない人が多い（距離が近すぎる人が多い）
- ⑦ 手打ちの人が多い

マスボクシング、実戦の両方の競技規則をよく理解してください。

そして採点基準を理解したボクシングを目指してください。

東京都代表者の全日本大会での活躍を期待しております。